

# インフルエンザ週報 2014 年 第 49 週 (12 月 1 日 ~ 12 月 7 日)

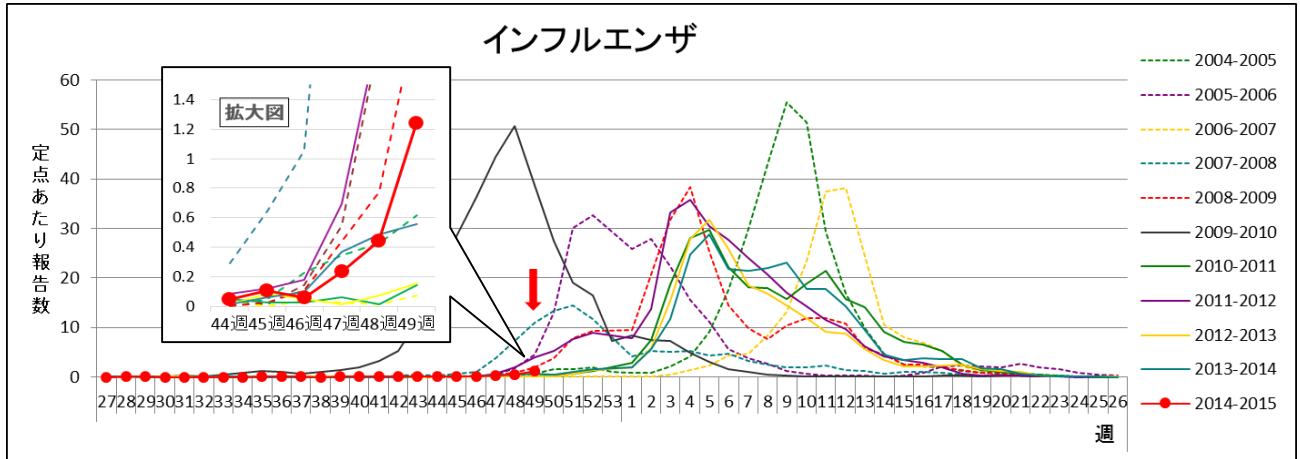
**岡山県は『インフルエンザ注意報 (流行シーズン入り)』を発令しました (12 月 11 日発令)**

## ➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 104 名 (定点あたり 0.44 → 1.24 人) の発生があり、前週より増加しました。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は 4 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。

## 【第 50 週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 6 施設でありました (12 月 8 日~10 日)。



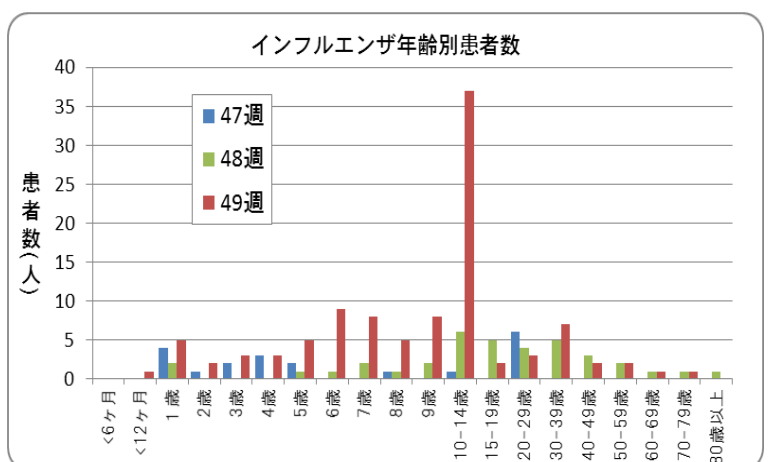
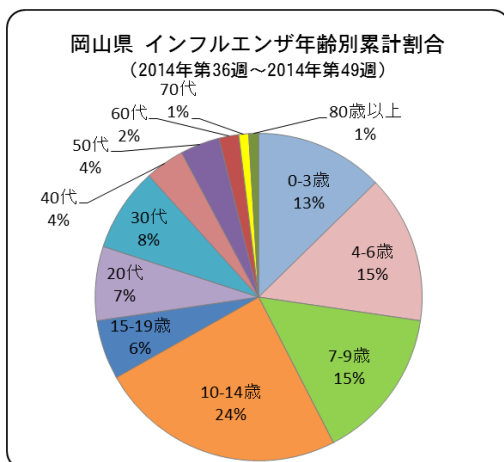
※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第 27 週 ~ 翌年第 26 週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で 104 名 (定点あたり 0.44 → 1.24 人) の発生があり、3 週連続で増加しました (84 定点医療機関報告)。定点あたり報告数が 1.24 人となり、インフルエンザ注意報発令基準の 1.00 人を上まわったことから、12 月 11 日、岡山県は「インフルエンザ注意報(流行シーズン入り)」を発令し、広く注意を呼びかけています。昨シーズン (第 52 週 定点あたり 1.53 人) より、3 週間早く流行シーズンに入りました。なお、岡山県の注意報発令基準は、昨シーズンまで定点あたり 5.00 人でしたが、今シーズンから定点あたり 1.00 人に変更され、より早いタイミングで注意喚起を行うことになりました。

地域別では、岡山市 (2.41 人)、備中地域 (2.25 人)、倉敷市 (1.06 人)、備前地域 (0.47 人) で発生が報告されており、県南部での流行となっています。特に、岡山市 (0.32 → 2.41 人)、備中地域 (0.75 → 2.25 人) では、前週より大きく増加しました。第 49 週の学校等の臨時休業は、岡山市と倉敷市の小中学校 4 施設から報告がありました。第 50 週は、備前地域および備中地域の小学校でも報告されています。

『外出後や食事前の手洗いを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠を取る。』など、感染予防に努めましょう。

## 1. 年齢別発生状況



今シーズン (2014 年 9 月 1 日~) の年齢別累計割合は、10-14 歳 24%、4-6 歳および 7-9 歳 15%、0-3 歳 13% の順で定点あたり報告数が多くなりました。第 49 週は、小中学生に該当する年齢層で大きく増加しています。幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必

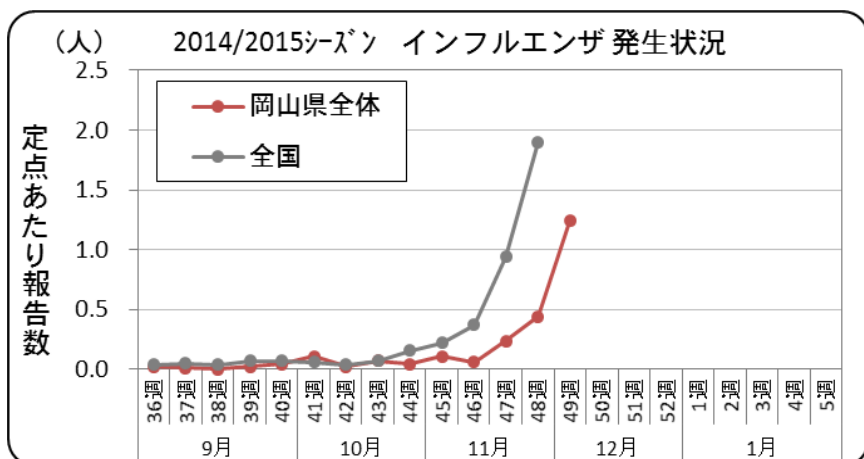
要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。

## 2. 地域別発生状況

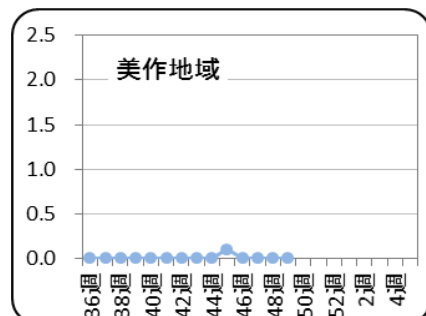
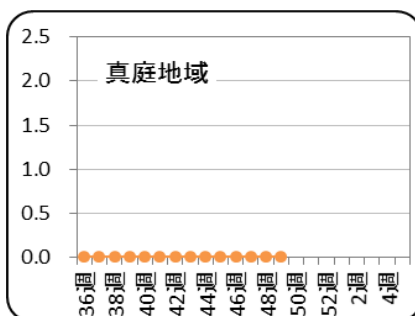
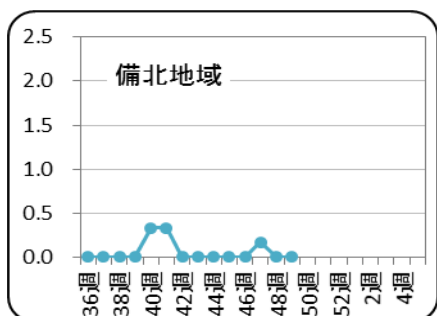
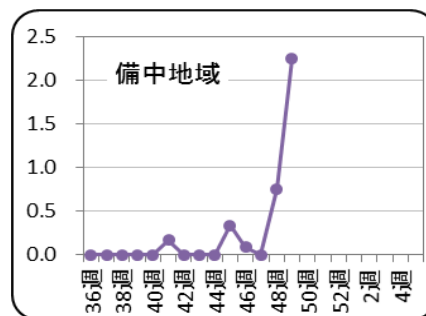
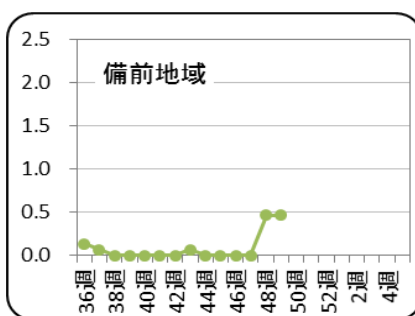
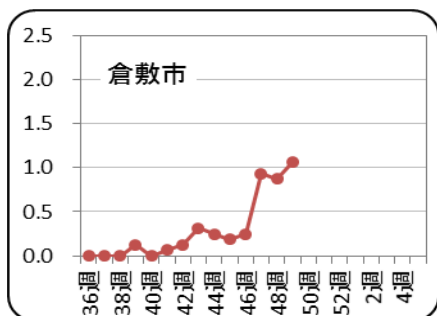
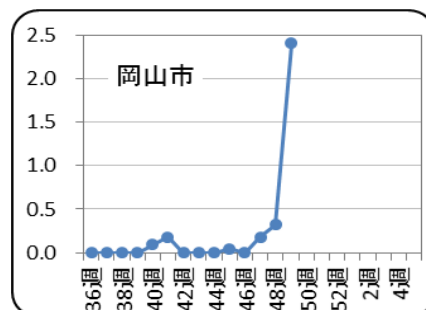
前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	104	▲	備 中	患者数	27	▲
	定点あたり	1.24			定点あたり	2.25	
岡山市	患者数	53	▲	備 北	患者数	0	▶
	定点あたり	2.41			定点あたり	0.00	
倉敷市	患者数	17	▶	真 庭	患者数	—	▶
	定点あたり	1.06			定点あたり	—	
備 前	患者数	7	▶	美 作	患者数	0	▶
	定点あたり	0.47			定点あたり	0.00	

【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ▼ 1.1未満の増減 →  
1.1～2倍未満の増加 ▲ 2倍以上の増加 ↑



全国集計第48週(11/24～11/30)によると、全国の定点あたり報告数は1.90人となり、全国的なインフルエンザの流行開始の目安となる「定点あたり1人」を初めて上回りました。都道府県別では、岩手県(10.52人)、福島県(6.41人)、埼玉県(5.05人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、東日本を中心に流行しています。

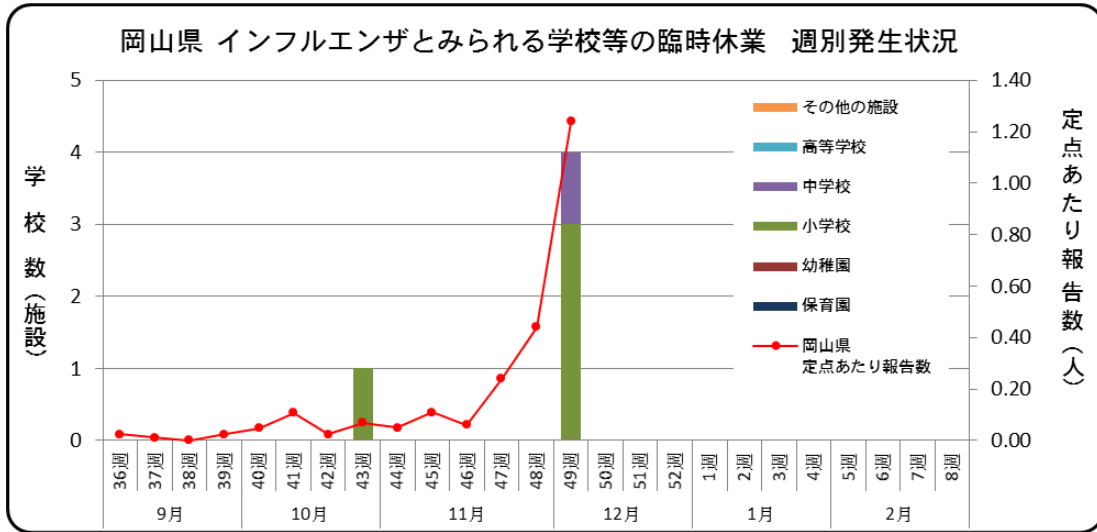


### 3. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が4施設でありました。

【第49週 臨時休業施設数】

▽岡山市 3 ▽倉敷市 1



#### 1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
<b>岡山県全体</b>	<b>108</b>	<b>119</b>	<b>80</b>	<b>90</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	—	—	—	—	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>H26.10.21</b>
岡山市	89	89	64	64	3	3	—	—	—	—	3	3	<b>H26.12.1</b>
倉敷市	19	30	16	26	1	2	—	—	—	—	1	2	<b>H26.10.21</b>
備前地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備中地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備北地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
真庭地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
美作地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

#### 2) 臨時休業施設数の内訳

第49週：4施設

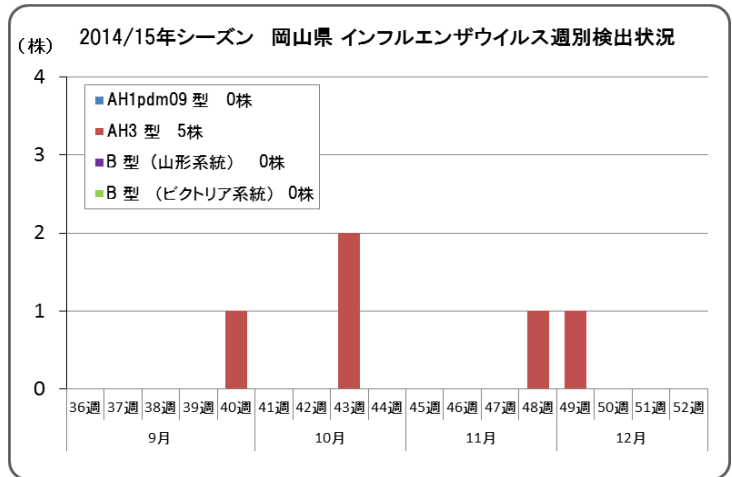
累計：5施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	—	—	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	—	—	—	—

#### 4. インフルエンザウイルス検出状況

第49週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、AH3型が2株でした。今シーズンで、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が5株（100%）となっています。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型 93%、B型 4%、AH1pdm09型 3%の順に多く検出されています。（平成26年12月10日現在）



[\(インフルエンザウイルス分離・検出速報 \(国立感染症研究所\)\)](#)

#### 【今シーズン第49週までの判明分】

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別
インフルエンザウイルスAH3型	2014年第40週 (9/29~10/5)	2014/9/29	岡山市	40代	男
インフルエンザウイルスAH3型	2014年第43週 (10/20~10/26)	2014/10/21	倉敷市	小学生	男
インフルエンザウイルスAH3型	2014年第43週 (10/20~10/26)	2014/10/21	倉敷市	小学生	男
インフルエンザウイルスAH3型	2014年第48週 (11/24~11/30)	2014/11/28	岡山市	30代	男
インフルエンザウイルスAH3型	2014年第49週 (12/1~12/7)	2014/12/1	岡山市	小学生	男

### 《インフルエンザの予防接種はお早めに！》

インフルエンザのワクチンによる効果が出現するまで、2週間程度かかります。今年、昨年より3週間ほど早い流行シーズン入りとなっており、早めのワクチン接種をご検討ください。

予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。また、年により流行するウイルスの型が変わるため、毎年接種する必要があります。

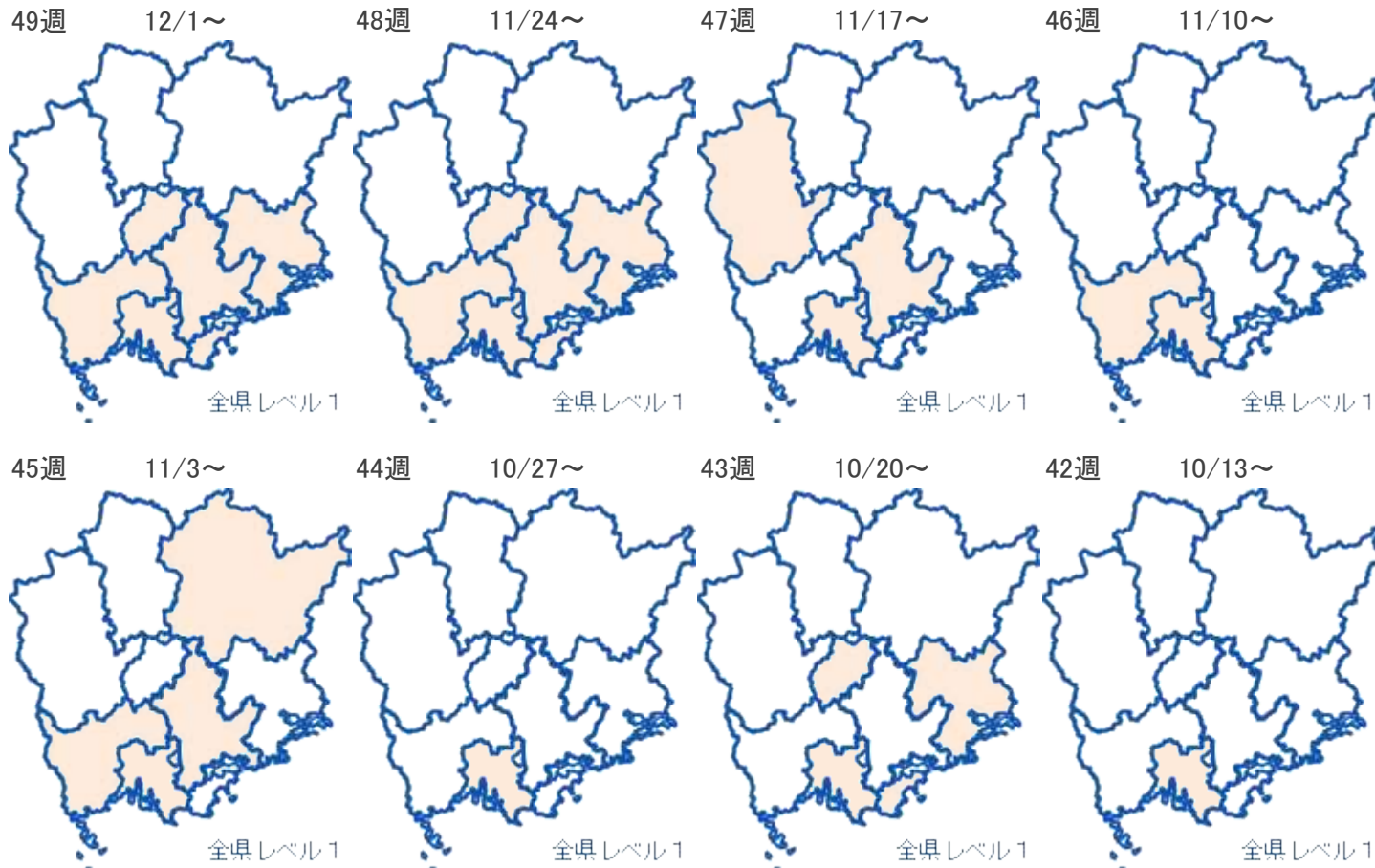
◎ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。



# 岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2014年 49週

2014年12月9日

15:34:02



## インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。